

講義科目 : 経済史	単位数 : 4
担当 : 茂木 陽一	学習形態 : 選択科目

**講義の内容・方法および到達目標**

- 世界と日本の人口変動と物価変動を軸にした経済発展の歴史について講じ、さらに、近代日本の経済発展を戦争・植民地支配および恐慌との関連で概観します。近代日本のアポリア（難問）に対する解答ができることを目標とします。
- 講義の中で提示する経済成長と人口変動に関わる基礎的な概念を理解することと、近代日本における戦争と平和が経済成長に及ぼした役割を認識して、近代日本のアポリアに対する解答ができることを目標とします。

**授業計画**

第1回	ガイダンス、経済史入門	第16回	貨幣と物価
第2回	人口史の方法	第17回	江戸期の三貨制度
第3回	人類の誕生と農業革命	第18回	藩札と私札
第4回	前近代の人口と経済	第19回	文政期インフレ成長仮説
第5回	価格革命と産業革命	第20回	近代幣制の成立
第6回	近代経済成長と人口増加	第21回	「円」の誕生
第7回	人口転換と近代家族	第22回	銀行システムと産業革命
第8回	人口波動と日本の歴史	第23回	金本位制と三環節構造
第9回	経済社会化と第三の波動	第24回	世界恐慌と昭和恐慌
第10回	近代日本の経済成長と人口変動	第25回	総力戦体制と管理通貨制
第11回	人口減少社会と経済変動	第26回	敗戦と戦後復興
第12回	少子高齢化と第二人口転換	第27回	高度経済成長
第13回	近代家族の解体	第28回	安定成長とバブル崩壊
第14回	途上国の人口問題	第29回	戦争・植民地と経済発展
第15回	まとめと確認(中間試験)	第30回	近代日本のアポリア
			定期試験

**教材・テキスト・参考文献等**

- 講義の際に資料とレジュメを配布し、それにしたがって講義を進めます。
- 適宜、講義録を配布します。配付資料とこの講義録を合わせたものがテキストになります。
- 講義の参考になる文献として以下のものをあげておきます。  
鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』（講談社現代新書）、高木久史『通貨の日本史』（中公新書）

**成績評価方法**

- 中間試験35%、定期試験35%、小レポート①～⑥各5%の合計で行います。また、1/3を超えて欠席した者は無資格とします。出席点はありません。

**その他**

- 毎回出席カードを配布します。質問・要望のある人はカードに記入してください。どのような質問・要望であっても丁寧に回答します。
- 正当な理由がある場合以外の遅刻・早退は認めません。私語を止めなかったり、授業に参加していないと思われる場合は、退室してもらうことがあります。